

北海道大学病院、旭川医科大学病院、札幌医科大学病院に通院・入院されたことがある患者さんまたはご家族の方へ

（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報や検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] コロナウイルス感染症における IL-6 アンブを介した病態発症機構に関する研究

[研究代表者名・所属] 村上 正晃

北海道大学遺伝子病制御研究所分子神経免疫学分野・教授

[共同研究機関名・研究責任者名]

旭川医科大学病院	藤井 聡	
札幌医科大学病院	高橋 聡	
大阪大学 免疫学フロンティア研究センター		黒崎 知博
大阪大学 産業科学研究所	谷口 正輝	
量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所		五十嵐 龍治

[研究の目的] 慢性炎症性疾患の検体を用いて炎症病態を詳しく調べ、慢性炎症性疾患の治療法の向上に役立てるためことを目的としています

[研究の方法]

○対象となる方

・2010年1月から実施許可日までの間に北海道大学病院呼吸器内科、血液内科、旭川医科大学病院または札幌医科大学病院で肺炎、気管支炎、喘息、間質性肺疾患の治療を受けた方で、研究目的で臨床検体を保管されることに同意された患者さん

○利用する検体・カルテ情報

検体：組織検体、血液検体

基本情報：年齢、性別、最終観察日、術後転帰

疾患情報：疾患名、手術名、治療内容、再発の有無、病理組織学的所見など

その他検査情報：血液生化学的検査結果（肝機能（T-Cho、T-Bil、D-Bil、LDH、GOT、GPTなど）、画像検査所見（CT、MRI、エコーなど）

上記の検体は、炎症病態の解析のために北海道大学遺伝子病制御研究所を經由して東京医科歯科大学難治疾患研究所、大阪大学、量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所に宅配で送付します。また、上記のカルテ情報は、病態重症度との相関性を解析するた

